

公共事業再評価

海岸(高潮)事業 沼津港海岸(千本地区)



交通基盤部 港湾局 港湾整備課

1. 事業箇所 沼津港全景(平成26年)



2. 事業概要 (1) 事業目的

沼津港海岸周辺 浸水区域図



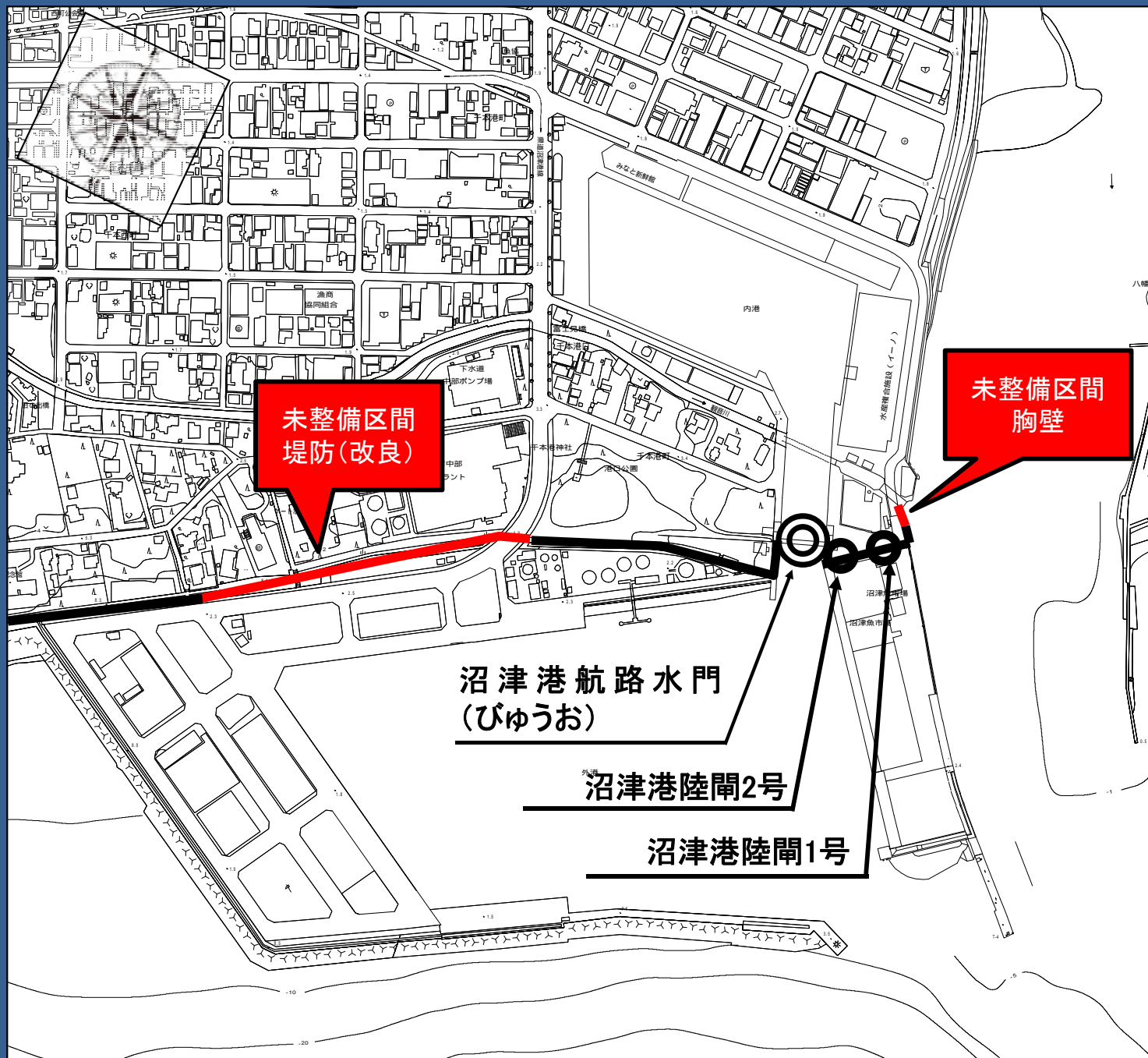
沼津港海岸事業(千本地区)

対象津波浸水区域122ha

防護人口およそ5,700人

3次想定津波高T.P.4.8m

2. 事業概要 (2) 事業内容



事業内容

水門 数=1基

堤防(改良) 延長=653m

胸壁 延長=170m

陸閘 数=2基

事業期間

平成8年度～平成34年度

全体事業費 5,471百万円

凡例

- 堤防・胸壁整備済み
- 堤防・胸壁未整備
- ◎ 水門整備済み
- 陸閘整備済み

2. 事業概要 (3) 事業詳細

【沼津港航路水門「びゅうお」】



内港への津波の侵入を防ぐ

2. 事業概要 (3) 事業詳細

胸壁の整備



着工前



胸壁により
浸水を防ぐ

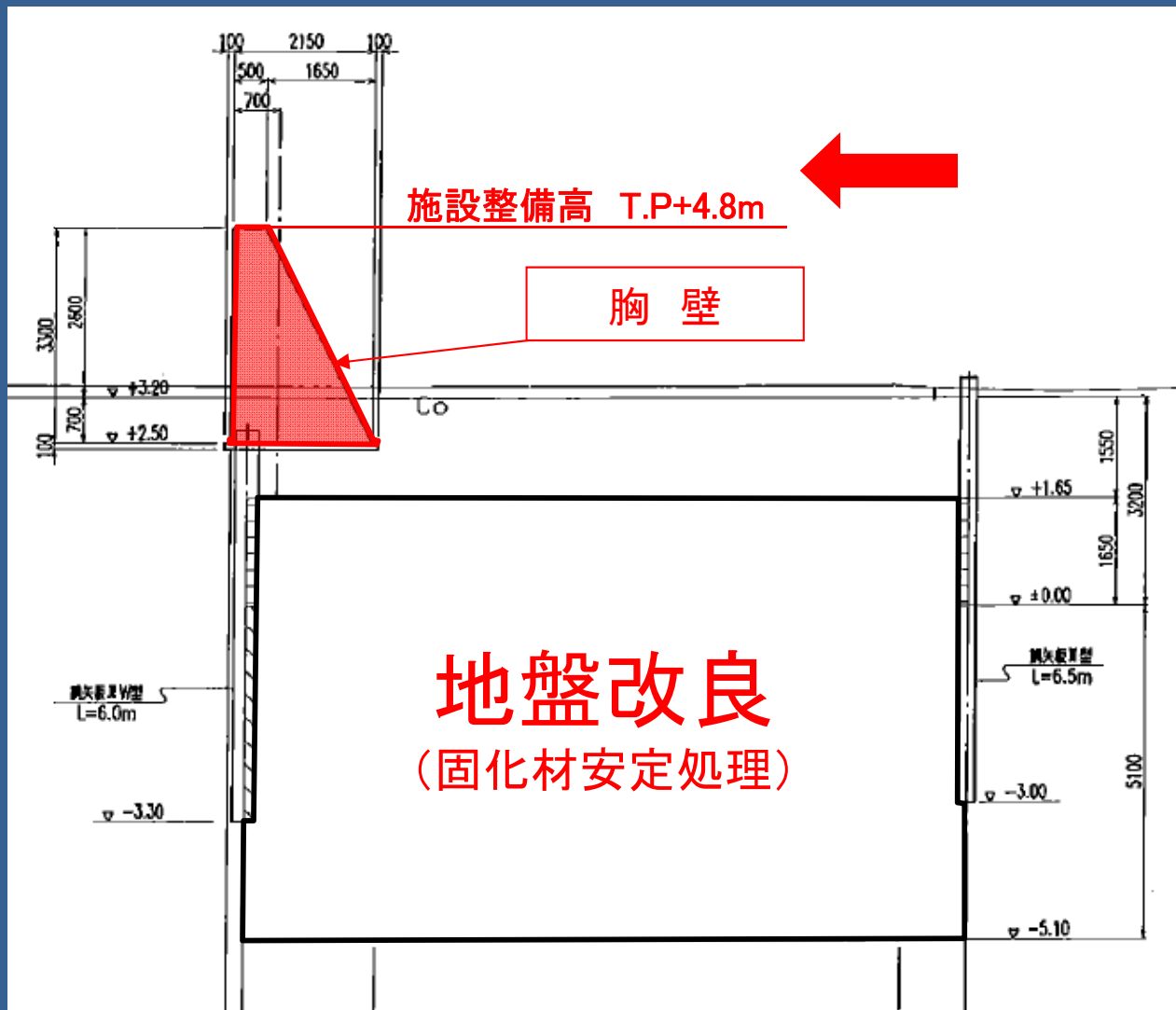


完成



2. 事業概要 (3) 事業詳細

胸壁工 標準横断面図



2. 事業概要 (4) 事業詳細

無堤区間の解消



一連区間の完成を目指す

2. 事業概要 (4) 事業詳細

堤防(改良)



既存施設のうち耐震性が不足する施設の改良



3. 事業の必要性 (事業を巡る社会経済情勢等の変化)

東日本大震災の発生



津波対策への関心
防災意識の向上



3. 事業の必要性 (事業を巡る社会経済情勢等の変化)

◎沼津市津波・高潮防災ステーションの整備(平成27年度完成予定)

沼津市津波・高潮防災ステーションイメージ図



4. 事業の必要性 (事業の投資効果)

総費用(C) = 94.33億円(現在価値換算)

- ・全体事業費 90.09億円
- ・維持費 4.24億円 (0.084億円/年)

総便益(B) = 613.36億円(現在価値換算)

- ・想定浸水域(津波)の被害軽減効果

千本地区における総被害軽減額: 6,019億円

(一般資産被害額: 2,128億円、公共土木施設被害額: 3,828億円、
公共事業等被害額: 63億円)

⇒地震発生確率を加味した年間被害額: 37.57億円

⇒50年分の被害軽減効果を現在価値換算(総便益): 613.36億円

総費用(C)に対する総便益(B)

$$B/C = 6.5$$

5. 今後の事業の進捗の見込み

東日本大震災の発生



静岡県第4次地震被害想定の方定

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013



新たな想定に对应した津波対策の推進

6. 対応方針(案)

(1) 対応方針案

本事業を **継続** する。

(2) 理由

本事業は地震・津波対策アクションプログラム2013に位置付けており、費用対効果も十分に認められ、津波対策に対する地域住民の要望も非常に大きいため、事業継続とする。